職業実践専門課程等の基本情報について

大原医療福祉製菓専門等 設置者名 学校法人大原等	学校梅田校	平点	#10/F0 F0					E00 00E1				
		(電話) 06-6130-7416					(住所)		订2番14号			
		設す	立認可年月	B	代.表	者名		06-6130-7416	所在地			
			和54年4月			毎彦	(住所)	101-0065 東京都千代田区西社				
分野		忍定課程名	3		認定学科	2		03-3292-6266 引士認定年度	高度専門士認	定年度	職業宝器重	門課程認定年度
商業実務		実務専門			医療事務学			17(2005)年度	- IBJX 47 1 1 1 III	~-/2	1	7(2015)年度
学科の日的	本学科は、	教育基本法	去及び学校	教育法及び	『社会福祉:	士及び介護福	祖法」に基づ	づき、厚生労働大臣指 こを目的とする。	定のもと、医療・福祉	並びにこれ	1	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	医療請求事 中退率:09	事務検定、 6(令和6年	医療秘書実 5月1日時点	務検定における在	E学者24名、	令和7年3月3	1日時点に	おける在学者24名)				
修業年限	昼夜	全課程の何	修了に必要 単位		特数又は総	講弟	轰	演習	実習	身	ミ験	実技
2	昼間	※単位時間、	単位いずれ	1,700	単位時間	1,680	単位時間	2,400 単位時間	780 単位時間	() 単位時間	0 単位時間
年		かに記入			単位		単位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒実	三員(A)	留学生	数(生徒実員の	o内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
40 人	20	人		0	人	0	%	0 %				
	■卒業者	数(C) 望者数(D)) :		14 13		<u> </u>		•			
	■就職者		:		13		숫					
		職者数(F) /E/D))		100		人					
	■就職率 ■就職者		元就職者σ)割合 (F/E	:)		%					
					62%		%					
			職者の割合	(E/C)	93%		%					
	■進学者 ■その他	数			0		人					
	特になし											
	(令和	c	午度衣类老	に明士を入	和 7 年 5 日 1	日時点の情報	2)					
		。 職先、業界		に関する中	和7年5月1	. 口时尽切用节	2)					
	(令和6年度		,									
	医療業界	(病院)										
	■民間の	評価機関領	等から第三	者評価·				無				
			下について任					ж				
学校評価		評価団体:				受審年月:			準価結果を掲載した			
						ДП1/// .		本	ベームページURL			
当該学科の ホームページ I	https://w	ww o-hara	ac in/senr	non/schoo	ol/umeda in	yo/course/						
URL			51.									
	(A:単位	時間による	(算定)									
		総授業時数	ţ							1, 700) 単位時間	
			うち企業等	と連携した	実験・実習	・実技の授業	時数			450	〕単位時間	
			うち企業等	と連携した	演習の授業	時数				(0 単位時間	
			うち必修授	業時数						120	単位時間	
				うち企業等	を連携した	必修の実験・	実習・実技	の授業時数		120	0 単位時間	
				うち企業等	を連携した	必修の演習の	授業時数			(0 単位時間	
企業等と連携した			(うち企業	等と連携し	たインター	ンシップの授	業時数)			() 単位時間	
実習等の実施状況	•							<u></u>	<u></u>			
(A、Bいずれか に記入)	(B:単位	数による第	(定)									
		総単位数									単位	
						・実技の単位	数				単位	
					演習の単位	数					単位	
			うち必修単								単位	
						必修の実験・		の単位数			単位	
						必修の演習の					単位	
	Į		(うち企業	等と連携し	たインター	ンシップの単	1位数)				単位	
	ſ	① 亩枚岩	校の専用報	2段を終了!	た後、学校	等において						
		その担当す	る教育等に	従事した者	ずであって、	当該専門課	(声悠学	校設置其進筆41条第1™	1第1号)	,	1 人	
	程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六 年以上となる者											
]	② 学士の)学位を有す	る者等			(専修学	校設置基準第41条第1項	第2号)	1	1 人	
教員の属性(専任	③ 高等学校教諭等経験者					(専修学	校設置基準第41条第1項	[第3号)	() 人		
教員について記入)	[④ 修士の)学位又は専	門職学位			(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第4号)	-	0 人	
		⑤ その他	<u>t</u>				(専修学	校設置基準第41条第1項	順第5号)) <u>/</u>	
	•	āt								2	2 人	
	L											
	آ	F##11~®	かった ま	2	(分野におけ	スおおわわら	年以上の宝	発の経験を右 し かつ	真度の			
	[のうち、実」を有する者			るおおむね5	年以上の実	務の経験を有し、かつ)、高度の	() <u>/</u>	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である医療機関の医事課(医療事務職、クラーク職)や看護部(看護助手職)、また、診療報酬改定に造詣の深い企業や出版社と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部の上位に教育課程編成委員会を設置し、各委員からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月6日現在

E 17			刀口切孔上
名 前	所 属	任期	種別
水口 錠二	一般財団法人 日本医療報酬調査会 代表理事	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2	1
山田 豊	友紘会総合病院 事務長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2	3
林 努	林歯科医院 院長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2	3
重塚 悟	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校校長	_	_
河﨑 達	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校 教務課長	_	_
小坂 茉那恵	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田 校	_	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:40~17:30

第2回 令和6年11月14日 16:30~17:00

第1回 令和7年8月7日 16:40~17:30

- ※令和7年度第2回は、令和7年11月13日予定(本書類作成時の予定)
- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

カリキュラムとして重点を置いている応対接遇授業において、より現場で起こり得る状況でケーススタディを行えるように、委員の方々からご助言をいただいている。委員より情報提供のあった事例をもとにロールプレイを行うことによって、実務レベルでの応対に触れることができ、学生の習熟度も高まっている。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①中規模から大規模の医療機関で、医事課職員の指導の下、実習を実施する。また、病院の基本的機能の理解、病院内における医事課の役割、患者応対方法の実践を学び、身に付けられるよう、内容等の組み立てを調整する。
- ②医療機関等との連携による実習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革、医療 従事者としての意識改革を実現する。
- ③医療機関担当者と実習部署、実習内容を検討し、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを医療機関等の実務の視点から評価を仰ぐ。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

医療機関等に病院実習受け入れ依頼を行い、病院実習受け入れ承諾書を頂戴するとともに、打合せを行い、下記の4点について連携している。

- ① 医事課担当者と打ち合わせを行い、実習日程、実習内容、到達目標、評価指標等を調整・決定
- ② 医療機関内の各施設、各部署の見学、実習の実施
- ③ 学生の実習状況の確認及び医事課担当者との情報交換のため、担当教員による訪問
- ④ 実習修了時の学生の学修成果の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Н		件日数については1人衣的な		
	科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
	病院実習Ⅰ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	病院就職に必要な知識やスキル を身に付ける	医誠会国際総合病院、済生会野 江病院、済生会吹田病院、野崎徳 洲会病院、市立伊丹病院、等
	病院実習Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	電卓の楽手を通じ、計算技能・集 中力を養う	医誠会国際総合病院、済生会野 江病院、済生会吹田病院、野崎徳 洲会病院、市立伊丹病院、等
	病院実習Ⅲ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	医誠会国際総合病院、済生会野 江病院、済生会吹田病院、野崎徳 洲会病院、市立伊丹病院、等
	病院実習IV	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	処方箋から明細書(レセプト)を作 成するための演習を行う	医誠会国際総合病院、済生会野 江病院、済生会吹田病院、野崎徳 洲会病院、市立伊丹病院、等
	病院実習Ⅴ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	保険の基礎的な知識を学ぶ	医誠会国際総合病院、済生会野 江病院、済生会吹田病院、野崎徳 洲会病院、市立伊丹病院、等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する正確な知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために教職員研修の環境を整える。「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は以下の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大阪府(関連団体等含む)主催の実践的な知識・指導スキル研修
- ③専門分野に特化した講師を招いた研修会の実施
- (2)研修等の実績
- ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務学科教員 知識力向上勉強会 連携企業等: 蓮田病院

期間: 2025年2月18日 対象: 医療事務学科教員

内容 ①2024年度の診療報酬改定項目②改定の医療機関に与える影響③改定を受け実際に行った現場の対応

¹⁴ 4医療機関が求める医療系事務職の人材像

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 人権教育研修会 連携企業等: 一般財団法人大阪府専修 学校各種学校連合会

期間: 2024年10月9日 対象: 教員

内容 発達障がい等のある生徒が自身の障がい特性と向き合い明るい将来を見出す指導について考える

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務実務関連研修 連携企業等: 調整中

期間: 令和8年3月 対象: 医療事務学科教員

内容 医療事務員に必要な実務知識、診療報酬改定について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 人権教育研修会 連携企業等: 大阪府専修学校各種学校連合会

期間: 令和7年12月予定 対象: 医療事務学科教員

内容 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、管理職より改善計画を策定し、次年度以際の学校運営に反映させ改善を図る。

は、管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 (1)教育理念・目標 ③学校の将来構想を抱いているか。 ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニースに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 (3)教育活動 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育法が実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 (4)学修成果 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 (5)学生支援 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 ①施設設備は、教育の必要性に対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整 (6)教育環境 備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行われてているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。 ①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 (8)財務 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。

(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

退学率低減や教育実績に対するご評価をいただき、更に学生との向き合い方や保護者連携などを充実させるために、各委員の新人教育や従業員管理の実例をお聞きし、教育現場へとフィードバックしている。また、教育機関として学校生活における「楽しさ」「居場所」の提供、デジタル端末を利用したICT教育及びオンライン授業の拡充、災害有事の事業継続などについて、委員のアドバイスを元に整備している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
山田 豊	友紘会総合病院 事務長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
林 努	林歯科医院 院長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	地域住民委 員
田川 淳	社会福祉法人寿楽福祉会 業務執行理事	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
服部 幸宏	パティスリーラヴィルリエ オーナーシェフパティシ エ	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
竹原 庸起子	アミアカルヴァ行政書士法人 代表者 特定行政 書士	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	専門家委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

「ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

))

- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのため に、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	カナのカートラーク 300 宍口 この 7月 70
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2)各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③進級の認定 ④卒業の認定 ⑤称号の 付与 ⑥目標とする試験 ⑦主たる試験の合格実績 ⑧卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の受入
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

「ホームページ」・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

					商業実務専門課程 医療事務	学科				• ,				1.0		
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実		校外			企業等との連携
											技					
1	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	1 前	30	1		0		0		0		
2	0			一般教養Ⅱ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	2 前	30	1		0		0		0		
3	0			キャリアデザイ ン I	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	1 前	30	1		0		0		0		
4			0	ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 後	60	2	0			0		0		
5			0	パソコン実習I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識 を身に付ける実習	2 通	30	1			0	0		0		
6			0	パソコン実習Ⅱ	Excelの資料作成、作業スピードを向上する テクニックを習得する	2 通	30	1			0	0		0		
7			0	パソコン実習Ⅲ	応用的な機能を活用した文書作成や複雑な データ集計を行うスキル習得のための実習	2 通	30	1			0	0		0		
8			0	キャリアデザイ ンⅡ	面接試験に向けての準備作業や集団・個人 での実践練習を行う	2 前	30	1		0		0		0		
9	0			医療請求事務基 礎 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
10	0			医療請求事務基 礎 Ⅱ	医療請求事務基礎 I で学んだ知識を踏ま え、学科知識、セレプト知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
11	0			医療請求事務基 礎演習	診療録(カルテ)から明細書(外来レセプト)を作成するための総合演習を行う	1 前	60	2		0		0		0		
12	0			医療請求事務応 用 I	診療録(カルテ)から明細書(入院レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		

13	0		医療請求事務応 用 II	医療請求事務応用 I を学んだ知識を踏ま え、学科知識、レセプト知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0	
14	0			診療録(カルテ)から明細書(入院レセプト)を作成するための総合演習を行う	1 通	30	1		0		0		0	
15	0		医療秘書実務基 礎 I	医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0	
16	0		医療秘書実務基 礎 II	関連法規と基礎医学を理解するための基礎 的な知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0	
17	0		医療秘書実務基礎演習	医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ	1 通	30	1		0		0		0	
18	0		医療秘書実務応 用 I	医療秘書の職務と役割を理解するための応 用的な知識を学ぶ	1 通	30	1	0			0		0	
19	0		医療秘書実務応 用 II	基礎医学を理解するための応用的な知識を 学ぶ	1 通	30	1	0			0		0	
20	0		医療秘書実務応 用演習	医療秘書実務応用Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	1 後	30	1		0		0		0	
21	0		病院実習I	保険医療機関等で医療事務員として必要な 基礎知識を学ぶ	1 後	60	2			0		0	0	0
22	0		病院実習 Ⅱ	保険医療機関等で医療事務員として必要な 患者応対を学ぶ	1 後	60	2			0		0	0	0
23		0	医療秘書実践 I	受付での患者応対マナーや対応方法(挨拶 ~初診受付)を身に付ける	1 前	30	1		0		0		0	
24		0	医療秘書実践 Ⅱ	受付での患者応対マナーや対応方法(会計、再診受付)を身に付ける	1 通	60	2		0		0		0	
25		0	医療秘書実践Ⅲ	受付での患者応対マナーや対応方法 (様々なタイプの患者対応)を身に付ける	1 後	30	1		0		0		0	
26		0	診療報酬基礎	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	1 後	30	1		0		0		0	
27		0	診療報酬応用I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ	1 後	60	2		0		0		0	

28		0	診療報酬応用Ⅱ	診療報酬応用 I で学んだ知識を踏まえ、診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用知識を学ぶ	1 後	60	2		0	0	С)	
29		0	診療報酬演習	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な演習を学ぶ	1 後	60	2		0	0	С)	
30		0	医療キャリアデ ザイン I	医療事務員として仕事をするための心構 え・準備内容を理解する	1 通	30	1	0	Δ	0	С)	
31				自己分析を行い、自らの長所、短所を明確 にし、表現する	1 後	30	1	0	Δ	0	С)	
32		0	医療キャリアデ ザインⅢ	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	1 後	60	2	0	Δ	0	С)	
33		0	患者接遇論概論	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付け る	1 後	30	1		0	0	С)	
34		0	病院研究	病院就職に必要な知識やスキルを身に付ける	1 後	30	1		0	0	С)	
35		0	ビジネス教養 I	電卓の楽手を通じ、計算技能・集中力を養 う	1 前	30	1		0	0	С)	
36		0	医薬品知識	医薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を 学ぶ	1 後	30	1	0		0	С)	
37		0	調剤報酬請求事 務	処方箋から明細書(レセプト)を作成する ための基礎的な知識を学ぶ	1 後	60	2	0		0	С)	
38			調剤報酬請求事 務演習	処方箋から明細書(レセプト)を作成する ための演習を行う	1 後	30	1		0	0	С)	
39			医師事務作業補 助 I	医療保険制度及び医療関連法規について学ぶ	2 前	30	1	0		0	С)	
40		0	医師事務作業補 助 Ⅱ	医学・薬学に関連する知識及び医師事務作 業補助業務や各種医療文書等について学ぶ	2 前	60	2	0		0	С		
41		0	医師事務作業補 助演習	診断書や各種証明書、請求書を作成するための基礎を身に付ける	2 前	30	1		0	0	С		
42		0	接遇論マナー実践	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける	2 前	60	2		0	0	С		

43		0	患者看護論	患者の理解と、看護に関する知識を深める	2 通	30	1	0		0	C	
44		0	小児保健	小児に関する基礎知識習得と小児対応につ いて学ぶ	2 通	30	1	0		0	C	
45		0	医療秘書実践Ⅳ	医事課や総合受付等の内部業務知識やマナーを身に付ける	2 前	60	2		0	0	C	
46		0	医療秘書実践V	受付での患者応対マナーや対応方法 (特殊 保険や問い合わせ) を身に付ける	2 通	60	2		0	0	C	
47		0	ビジネス教養Ⅱ	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	2 通	30	1		0	0	C	
48			医療ビジネスマ ナー I	基本的なビジネススキルを身に付ける	2 後	30	1		0	0	C	
49		0	医療ビジネスマ ナー Ⅱ	ロールプレイングで実践的な知識を身に付ける	2 後	30	1		0	0	C	
50		0	請求事務実践Ⅰ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	2 通	30	1	0		0	C	
51		0	請求事務実践Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識の向上	2 通	30	1	0		0	C	
52		0	社会保険基礎論	保険の基礎的な知識を学ぶ	2 通	30	1	0		0	C	
53		0	医学知識	病院受付でも患者対応できるように医学的 な基礎的知識を学ぶ	2 後	30	1	0		0	C	
54		0	秘書実務	秘書的業務についての基礎的な知識と技能 を学ぶ	2 通	60	2	0	Δ	0	C	
55		0	秘書総合	秘書的業務についての知識と技能を身に付けるための応用的な演習を行う	2 通	60	2		0	0	C	
56		0	サービス知識	接遇マナーやサービス提供者としての応対 カを身に付ける	2 通	30	1	0	Δ	0	C	
57		0	キャリアデザイ ンⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習	2 通	30	1		0	0	C	

	1			T	Т			_	_		_	1	_	
58		0	医療キャリアデ ザインⅥ	医療事務員としての自己分析力を身に付 け、表現する	2 通	30	1	0	Δ		0	(
59		0	簿記入門	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	2 前	30	1	0			0	(
60		0	簿記基礎 I	株式会社における複式簿記の基本原理、簿 記の基本原理を学ぶ	2 前	90	3	0			0	(
61		0	簿記総合 I	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題 演習を通じて学ぶ	2 前	##	4		0		0	()	
62		0	簿記基礎Ⅱ	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ	2 前	90	3	0			0	()	
63		0	簿記基礎Ⅲ	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	2 前	60	2	0			0	()	
64		0	簿記総合 Ⅱ	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学び、本支店会計、連結会計、原 価計算の基礎も学ぶ	2 前	##	4		0		0	(
65		0	コミュニケー ション実践	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	2 通	30	1		0		0	(
66		0	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	2 通	30	1			0	0	(
67		0	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	2 通	60	2			0	0	(
68		0	PowerPoint基礎	PCの基礎操作並びにPowerPoinntの基礎操作 を理解する	2 通	30	1			0	0	(
69		0	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習	2 通	30	1	0			0	()	
70		0	給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義	2 通	30	1	0	Δ		0	(
71		0	英会話	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに 学習する	2 通	30	1	0	Δ		0	(
72		0	卒業前特別講座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 後	30	1	0			0	()	

										•					
73		0	病院実習Ⅲ	大学病院や総合病院等で医療事務員として 必要な行動を学ぶ	2 前	60	2			0		0	0		0
74		0	病院実習Ⅳ	大学病院や総合病院等で医療事務員として 必要な行動、態度、技術を学ぶ	2 前	60	2			0		0	0		0
75		0	病院実習Ⅴ	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、 業務内容を学ぶ	2 後	60	2			0		0	0		0
76		0	病院実習Ⅵ	保険医療機関内での他職種との連携業務を 学ぶ	2 後	60	2			0		0	0		0
77		0	病院実習Ⅷ	一医療人になるために基礎的な患者応対か ら事務的な仕事までを学ぶ	2 後	30	1			0		0	0		0
78		0	病院実習Ⅷ	医療事務員としての応用的な知識も含め、 全ての業務を学ぶ	2 後	60	2			0		0	0		0
79		0	実践数的 I 数的推理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 前	60	2	0			0			0	
80			実践数的 Ⅱ 判断推理	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	2 前	40	2	0			0			0	
81		0	実践数的 空間把握	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、 問題を解答する	2 前	20	1	0			0			0	
82			実践社会科学 I 政治	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験 レベルの実践的知識まで学ぶ	2 前	30	1	0			0			0	
83			実践社会科学 II 経済・社会	財政政策・外国為替などの経済分野と労働 問題などの社会分野の基礎知識と本試験レ ベルの実践的知識までを学ぶ	2 前	40	2	0			0			0	
84		0	基礎言語 I 文理・国語	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章 読解力の習得	2 前	20	1	0			0			0	
85		0	実践答案練習 I	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ	2 前	60	2		0		0			0	
86		0	直前答案練習Ⅰ	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	##	6		0		0			0	
87		0	公務員時事対策	自然科学から国際問題まで幅広いジャンル の社会時事を学ぶ	2 前	30	1	0			0			0	

						l						
88			実践数的 数的総合	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 通	40	2		0	0	0	
89		0	実践自然科学 I 生物・地学	生体から自然環境までの生物分野、地球の 内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
90		0	実践自然科学 Ⅱ 物理・化学	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・ 熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は 物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
91		0	実践人文科学 I 地理	気候や各コクの産業などの基礎知識本試験 レベルの実践的知識を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
92		0	実践人文科学 Ⅱ 日本史	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴 史を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
93			実践人文科学Ⅲ 世界史	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心 として世界の歴史を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
94		0	応用演習 数的処理本試験 対策	数的分野全般について、更なる問題演習に よる試験直前の応用力強化	2 前	20	1		0	0	0	
95		0	応用演習 知識系科目本試 験対策	知識系科目全般について、更なる問題演習 による試験直前の応用力強化	2 前	20	1		0	0	0	
96			公務員 教養論作文対策	公務員教養論作文試験対策のレクチャーお よび実践練習を行う	2 前	30	1		0	0	0	
97		0	基礎人文科学総 合	西洋および東洋の論理や芸術、文学を学ぶ	2 前	20	1		0	0	0	
98		0	基礎自然科学総 合	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	2 前	20	1		0	0	0	
99		0	実践答案練習Ⅱ	模擬試験を通じ、復習及び実践的な知識を 学ぶ	2 前	90	3		0	0	0	
100		0	直前答案練習Ⅱ	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	##	4		0	0	0	
101		0	直前答案練習Ⅲ	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 通	30	1		0	0	0	
102		0	公務員時事研究	就職先に関連する社会的ニュースを考察す る	2 通	60	2		0	0	0	

103	(公務員キャリアデザ イン基礎	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試 験種に向けた面接指導を行う	2 通	90	3		0		0	0)
104	(0	公務員 適性検査演習 I	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	60	2		0		0	0)
105	(公務員 適性検査演習 Ⅱ	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	30	1		0		0	0)
106	(0	公務員就職試験 対策演習	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	2 通	30	1		0		0	0)
107	(0	トレーニング実 習	トレーニング関連の講義から得た知識を活 かした実習を行う	2 後	30	1			0	0	0)
108	(0	職業実務I	官公庁から講師をお招きし、その演習講義から得た知識を基に官公庁・法律研究を行う	2 通	15	1		0		0	0)
109	(0	職業実務Ⅱ	警察署から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 後	15	1		0		0	0)
110	(0	職業実務Ⅲ	官公庁(国家省庁等)から講師をお招き し、その講義から得た知識を基に官庁企業 研究を行う	2 通	15	1		0		0	0)
111	(0	職業実務Ⅳ	実務経験の豊富な講師をお招きし、その演 習講義から得た知識を基に官庁企業研究を 行う	2 通	15	1		0		0	0)
112	(0	職業実務Ⅴ	官公庁(国家省庁等)から講師をお招き し、その講義から得た知識を基に官庁企業 研究を行う	2 通	15	1		0		0	0)
113	(0	公官庁講話	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き 職種への理解を深める	2 前	20	1	0			0	0)
114	(0	公務員倫理	公務人材開発協会より講師をお招きし、公 務員に関する法令や服務規程を学ぶ	2 後	15	1		0		0	0)
115	(0	公共ボランティア 実習 I	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0	0	0)
116	(0	公共ボランティア 実習 Ⅱ	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0	0	0)
117	(0	法律研究	身近な法律に関する講義を受け、研究およ び発表を通じて法律の考え方を学ぶ	2 後	30	1		0		0	0)

11	8	0	行政研究	災害対策に関する講義を受け、研究および 発表を通じて防災への理解を深める	2 通	30	1		0	0		0		
		合	計	118	118 科目				4920 単位(単位時間)					

	卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件:	卒業の認定は、規定する修業年限以上在学し、下記※に定める授業時間数以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について校長が行う。 ※医療事務学科は1,700時間	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法:	必修科目全科目(690時間)および選択科目(1010時間以上)を履修する。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。また、学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に	1 学期の授業期間	21 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。